



## Agenda

# 3 個別学習支援

一人ひとりの学力に応じた、  
きめ細やかな学習指導を行います。

日々の学習の中心はクラス単位の授業ですが、その中での興味関心や理解度は、生徒によって異なります。一人ひとりの生徒が、自分が興味を持った分野をさらに掘り下げ、分からなかったところを一つずつ克服していく、その積み重ねが生徒の学力を高めることにつながるという原点に立ち返り、桐蔭学園は、2015年度中学・中等1年生から新しい個別学習支援を開始します。

個人の状況に応じた支援を行うには、まず生徒の学習の状況を把握する必要があります。そこで2015年度の中学・中等1年生より、一人ずつが自身専用のタブレットを活用し、個人の学習カルテを作成していきます。学習カルテには日々の学習の記録や定期考査、校外模試の結果などが記録されます。そうしたデータを確認しながら担

任が定期的に面談を行い、それまでの学習を生徒と共に振り返り適切な助言を行うことで、生徒のやる気を育てていきます。

小学生の頃は、保護者や学習塾が勉強をリードしてくれていたかもしれませんが、中学生からは「自立した学習者」になることがとても大切です。自ら考え学んでいく力は、大学受験でも社会に出てからも必要になるからです。そこで中学・中等1、2年生の間は、自学自習のできる生徒を育てることに注力していきます。

そのためには、まず学ぶ方法を身につける必要があります。新入生の皆さんには、各教科の学習のポイントなどが載ったオリジナルの「学習方法の手引き」を配付します。この手引きを基に、授業の予習の仕方、ノートの取り方など効果的

## 一人1台タブレットを導入

2015年度の中学・中等1年生から、タブレットの多様な機能を活用し、生徒と教員のコミュニケーションを促進するとともに、授業の充実や一人ひとりの生徒に応じた指導に役立てます。

### 学習用の設定

- ・学習状況を記録できるシステムを導入
  - ・授業で活用するアプリケーションを導入
- \*フィルタリングなど、安全に配慮した設定を行います。



### 学校生活での使用例

e-トレーニングの活用

小学校～高校の約100万題を収録

学習記録の作成

資料の閲覧・共有

クラス内の連絡事項の共有

校内・校外試験の成績データ管理

プレゼンテーション資料の作成



## 丁寧なフォローアップを行うことで、 自学自習のできる生徒を育てます。

な学習方法を身につけることで、学力の向上のみならず、部活動との両立など学校生活全体がより充実したものになると考えています。

私たちは、「自学自習のできる生徒」は日々の学習と、学ぶ喜びを感じる気持ちの積み重ねで育っていくと考えています。日常の学習の習慣づけと、着実な学習内容の定着のため、タブレット上のe-トレーニングを活用した授業のフォローアップを開始します。週に2回の朝のe-タイム、週に1回のe-チェックの時間を設け、前の週に学習した内容の復習と確認を行います。スモールステップで確認を行うことで、無理なく学習内容を見直すことができ、繰り返し学ぶことで定着度が高まることが期待されます。e-チェックで理解が不十分だった場合には、土曜日の放課後に、本

校の卒業生である現役大学生が、チューターとして個別に指導を行います。チューターと一緒に学び直すことで、授業でのつまずきを解消し、学習への自信とやる気を育ててほしいと考えています。e-トレーニングには小学校から高校までの様々な難易度の問題が約100万題収録されており、それぞれの生徒の状況に応じて、苦手分野をさかのぼって学習することも、難しい問題に挑戦することもできます。

こうした個別の学習支援を通して自学自習のできる生徒を育て、学習内容の定着度を高めることで、東大をはじめとする難関国公立大学や医学部、早慶上理、GMARCHといったそれぞれの生徒が希望する大学への進学につなげていきます。

### 「学び方」を学ぶ ～自学自習への導き～

生徒が、いつ、どこで、何を、どのような方法で学習するのか。それらを自ら考え実践できるよう、入学後まずは「学び方」についてしっかりと教えていきます。

#### 学習方法の手引きを配付

オリジナルの「学習方法の手引き」を使い、学習のスタートをサポートします。

#### 主な記載内容

中学生からの「学び」とは	家庭学習のポイント
教科ごとの学習方法	副教材の活用方法
ノートの取り方	効果的なテスト勉強法

